



胆江地区広域交流センター利用者で結成された
手芸サークル「ひまわり」のみなさん

手芸で広がる 交流の和

主な
内容

- 平成25年度施政方針
- 平成25年度予算
- 水沢消防署胆沢分署庁舎完成
- 広域交流センターについて

手芸サークル「ひまわり」では、一緒に手芸を楽しむ仲間を募集しております。興味のある方は、お気軽に胆江地区広域交流センターへご連絡ください。



広域交流センターに関する情報は、6ページで詳しく紹介しています。

常に安全と安心のサービスを 提供できる体制づくり

小沢昌記管理者は、平成25年第一回組合議会定例会で、平成25年度の組合運営の基本となる「施政方針」を述べました。その概要を紹介いたします。

○放射能対策

一昨年に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故に起因する放射能関連の被害は、事故発生から2年を越えようとする現在も大きな影をこの地方に落としました。放射性物質を含む焼却灰の処理等については、万全の態勢で対応していくとともに、モニタリング結果について、ホームページや広報等で情報提供を行い、住民の皆様の不安の軽減に努めてまいります。

○沿岸被災地支援の継続

平成24年6月から大槌町の災害廃棄物の受け入れを行っており、同年12月までに1370トン余りの災害廃棄物を焼却したところですが、今後も引き続き受け入れを行い、沿岸被災地の復興を支援してまいります。

○ごみ焼却・し尿処理業務

胆江地区衛生センターについては、「ごみ焼却施設の分散制御システム・自動燃焼制御装置」の更新工事を完了させるほか、各施設の整備についても、地域住民の安全・安心を確保するため、万全を期してまいります。

○火葬場管理・運営業務

年々火葬件数が増加し、日程調整が困難となる事例があることから、火葬業務に当たる人員を1名増員し、現在の1日当たり最大8件の火葬件数を9件に増やし、より円滑な運営に努めてまいります。

○介護認定審査判定業務及び 休日診療所管理・運営業務

介護認定審査判定業務については、迅速かつ適正に業務を遂行し、介護サービスが必要とする方々の支



施政方針を述べる小沢昌記管理者

援に努めるとともに、休日診療所の運営については、奥州市医師会の御協力のもと、引き続き診療体制の充実を図りながら、地域の安全・安心を支える初期救急医療の確保に努めてまいります。

○消防業務

大規模災害時等における広域応援体制に不可欠な「消防救急無線のデジタル化」及び「県内4消防本部消防指令業務共同運用」について、平成28年度からの本格運用に向けて取り組んでまいります。

救急業務については、救命処置の範囲拡大等の高度化に対応するとともに、救急車が到着するまでの住民による救命処置の更なる協力を得るため、新たに小中学生に対する応急手当の普及啓発活動を展開し、救命

率の向上に取り組みます。
予防業務については、引き続き住宅用火災警報器の設置促進に努めるとともに、防火対象物等に対する立入検査では、危険度に応じた効率的な執行を図り、追跡調査等により法令違反を是正し、火災又は事故の防止に努めてまいります。

○水道用水供給事業

平成25年度の懸沢ダムの完成に合わせて、第2期たんこう浄水場の整備工事を完了させるとともに、給水施設8カ所の点検を行い、平成26年度からの一日最大14600立方メートルの本格的な水道用水供給体制を整備いたします。

また、平成26年度からの新たな料金体系について検討し、適正な供給価格としてまいります。

○安全と安心を提供

現下の地方公共団体を取り巻く環境は、依然として厳しい状況ですが、達成すべき目的、目標を見据え、創意と工夫を凝らし、全体的業務において常に安全と安心のサービスを提供できるよう、職員と一丸となり、全力を傾注して取り組んでまいります。

平成25年度予算

奥州金ケ崎行政事務組合の平成25年度予算が2月定例議会において可決されました。

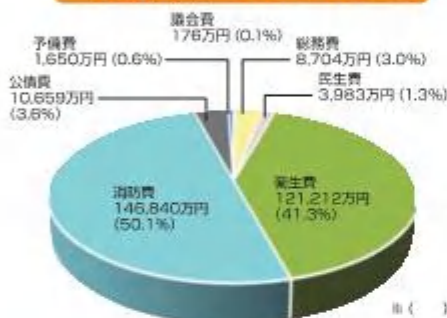
◆一般会計

予算総額は、29億3,224万円であり、ごみ焼却施設の施設整備事業及び災害廃棄物の受入れ等による施設運転業務委託料の増に伴い、清掃費が大幅な増となっていますが、水沢消防署胆沢分署整備事業の完了及びし尿処理施設整備事業の償還完了などにより、前年度に比較して2億9,746万円の減(9.2%減)となり、構成市町村からの分担金についても3億3,474万円の減(11.6%減)となりました。

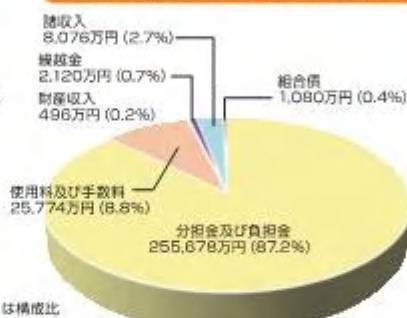
歳入については、分担金が2億5,678万円(11.6%減)、使用料及び手数料は2億5,774万円(0.2%減)、組合債は10,800万円(64.1%減)となっています。

歳出については、衛生費が12億1,212万円(19.9%増)、消防費は14億6,840万円(18.2%減)、組合債の償還である公債費は、1億6,599万円(61.4%減)となっています。

一般会計歳出 29億3,224万円



一般会計歳入 29億3,224万円



歳出(性質別)比較表

単位:千円

性質別歳出		25年度	24年度	増減額
経常的経費	人件費	1,616,911	1,671,754	△54,843
	公債費	106,586	276,485	△169,899
	物件費	534,497	492,301	42,196
	維持補修費	212,172	194,138	18,034
	補助費等	28,809	46,034	△17,225
	予備費	16,500	15,500	1,000
合計	2,515,475	2,696,212	△180,737	
投資的経費	普通建設事業費	416,767	533,495	△116,728
歳出合計		2,932,242	3,229,707	△297,465

性質別の内訳では、経常的経費が人件費、公債費及び補助費等の減により、前年度に比較して1億8,073万円の減(6.7%減)となっています。

投資的経費は、廃棄物処理施設維持補修工事、消防施設費が主なものであり、4億1,676万円(21.9%減)となっています。

主要事業

- ・災害廃棄物の受入れ(継続)
- ・農林業系副産物焼却の対応(新規)
- ・ごみ焼却処理施設維持補修工事(継続)
- ・ごみ焼却処理施設DCS・ACC更新(継続)
- ・し尿処理施設維持補修工事(継続)
- ・高機能消防指令センター電源装置等交換工事(新規)
- ・たんこう浄水場第2期整備工事(継続)
- ・財務会計システム機器の更新(継続)

◆胆江広域水道用水供給事業会計(企業会計)

事業経営に関する収益的収入については、3億4,715万円(2.6%増)、収益的支出については3億2,581万円(19.3%増)となっています。

投資的な予算である資本的収入については7億1,617万円(29.2%減)、資本的支出については7億9,624万円(26.1%減)となり、胆沢ダムの建設負担金の計上のほか、たんこう浄水場第2期整備工事が主な事業となっています。

胆沢区の防災拠点

水沢消防署 胆沢分署庁舎 完成

胆沢区の防災拠点となる水沢消防署胆沢分署庁舎の建築工事が完了し、2月20日から業務を開始しました。完成した庁舎は、延べ床面積726・54㎡の鉄筋コンクリート造平屋建てで、消防ポンプ自動車や救急白動車を収容する車庫、事務室、仮眠室等のほか、多目的研修室を整備し、救命講習会等を開催できる施設となりました。

敷地内には、ヘリポートも設置され、消防ヘリやドクターヘリとの連携にも対応した地域防災の拠点として運用されます。



【庁舎概要】

所在地 胆沢区小山字小十文字39番地2
敷地面積 7,676.97㎡
床面積 726.54㎡
構造 鉄筋コンクリート造平屋建
付属舎 車庫兼訓練棟
ホース乾燥塔

案内図



事務室



車庫



多目的研修室



胆沢区から設置された胆沢分署でも救命講習会が行えるようになります。是非、ご参加ください。

救命講習会日程

奥州金ヶ崎地域において、救急車が現場に到着する平均時間は約10分です。その場に居合わせた人が救命処置をしなければ、助かる命も助かりません。大切な家族や友人の命を救うため、救命講習を受講しましょう。

◆問い合わせ先

消防救急課救急係
019742417211

衣川分署 救急車を更新

水沢消防署衣川分署の救急車が更新配備されました。

消防ヘリやドクターヘリとの連携を考慮し、車両天井部に対空表示・赤色LED灯を装備しました。救急隊員が救命処置を観察で使用する各種資器材も最新鋭のものが導入され、より高度な救急活動が可能となりました。



対空表示及び赤色LED灯



救急車内



車両名 救急衣川

平成25年度上半期 普通救命講習会1日程表

日程	開催地
4月14日(日)	水沢消防署
5月12日(日)	前沢区 前沢分署
5月26日(日)	江刺区 江刺消防署
6月9日(日)	水沢区 水沢消防署
7月14日(日)	金ヶ崎町 金ヶ崎分署
8月11日(日)	水沢区 水沢消防署
9月8日(日)	胆沢区 胆沢分署
9月22日(日)	江刺区 江刺消防署

胆江地区衛生センターからのお願い

ごみの減量化を!

胆江地区衛生センターに搬入されるごみの量が増えています。

平成24年度の搬入量(平成25年2月末現在)は、東日本大震災の影響によりごみの搬入量が多かった平成23年度と比較して4,899・48トン(1・46%)も増加しています。

ごみの量が増え、焼却施設の寿命が短くなったり、灰を埋め立てる最終処分場を使用できる期間が短くなるほか、焼却処理等に伴い発生する二酸化炭素(CO₂)の増加も心配されます。

また、昨年6月から大穂町が

らの災害廃棄物(がれき)を毎日約10トン受け入れており、これ以上のごみの増加は災害廃棄物の受け入れに支障を来しかねません。

沿岸被災地の1日も早い復旧、復興のためにも、ごみの減量に御協力をお願いします。

受入れてできないごみについて

胆江地区衛生センターには、色々な種類のごみが搬入されていますが、その中には、ガスボンベや消火器などの爆発の可能性がある危険物や鉄製のハンマーやダンベルなど、施設の機械設備の故障の原因となるものが混入しています。

また、家電リサイクル法により指定された家電製品も持ち込むことができません。

収集ごみは、奥州市及び金ケ崎町の「ごみの分けかた出ししかた」を守って出してください。

直接、衛生センターに持ち込まれる場合は、事前にお問い合わせください。

問い合わせ先

奥州市水沢区佐倉河字仙人49

胆江地区衛生センター

TEL019712415821

3R活動でごみを減らしましょう!

- ① Reduce (リデュース:減らす)
 - ・生ごみは、捨てる前にひとしほりしてからごみ袋へ
 - ・冷蔵庫の食品を確認して無駄な買い物を減らす。
 - ・自分専用の水筒や箸を使う。
- ② Reuse (リユース:繰り返し使う)
 - ・洗剤等は、詰め替え製品を利用する。
 - ・ぞうきんやふきんを利用し、ティッシュペーパーを節約
- ③ Recycle (リサイクル:再資源化)
 - ・資源ごみはリサイクルステーションへ
 - 「選ばればごみ、分ければ資源」です。

家電リサイクル法対象家電



ごみの分別は正しい分別に御協力をお願いします。



※家電リサイクル法により、処理できません。販売店にお問い合わせください。

※胆江地区衛生センターでは処理できないため、持ち込むことができません。販売店又はリサイクル業者にお問い合わせください。

放射性物質を含む焼却灰等のモニタリング結果 (2月26日現在)

焼却灰(基準値:3,000ベクレル/kg)				単位:ベクレル/kg			
項目	セシウム-134	セシウム-137	合計	ヨウ素-131	放射性核種日	放射性核種日	放射性核種日
主 査	15	31	46	不検出	2月20日	2月20日	2月20日
副 査	140	290	420	不検出	2月20日	2月20日	2月20日

放射線量(測定高さ:1メートル)						単位:μSv/h			
衛生センター	測定位置	ダスト濃化率	2階計器	放射線量				測定日	
				東	南	西	北		
最終処分場	測定地内	敷地内① 右田地区	敷地外② 大沼地区	放射線量				測定日	
				東	南	西	北		
災害廃棄物車	測定地点	甲南石巻	甲南松原	放射線量				測定日	
				測定結果					
				東	南	西	北		
				0.06	0.09	0.07	0.14		
衛生センター	測定地点	甲南石巻	甲南松原	放射線量				測定日	
				測定結果					
				東	南	西	北		
				0.02	0.02	0.02	0.02		

最終処分場の水質				単位:リットル			
項目	セシウム-134	セシウム-137	合計	ヨウ素-131	放射性核種日	放射性核種日	放射性核種日
地下水放射能	4.7	9.3	14	不検出	2月20日	2月20日	2月20日

※下向き向き、上向きが2方向は測定できません

可燃ごみ焼却施設からの放射線量(線量)				単位:ベクレル/m ³			
項目	セシウム-134	セシウム-137	合計	放射性核種日	放射性核種日	放射性核種日	放射性核種日
排ガス測定口	不検出	不検出	不検出	不検出	2月14日	2月14日	2月14日

※放射能測定結果は、組合ホームページでさらに詳しくお知らせしております。
URL <http://users.catv-mic.ne.jp/~tnksoumu/>

胆江地区広域交流センターのご紹介

胆江地区広域交流センター（胆江ふれあいセンター）は、隣接する胆江地区衛生センターごみ焼却施設からの余熱を利用し、住民の心身の健康増進、休養及びレクリエーションの場を提供することを目的として設置された施設です。

同センターには、温水プール、大浴場、大広間、会議室、研修室等の屋内施設とテートボール場、テニスコート、グラウンドゴルフ場の屋外施設があり、多くの方にご利用いただいております。



○温水プール

水温30℃程度のきれいな温水プールで、水中ウォーキング等にご利用されています。



○大浴場

屋外施設でかいた汗を流していただける大浴場で、シャンプー、ボディソープも完備しています。



○大広間等

全館床暖房で、冬場も足元から暖かく、スポーツ入浴の後にゆっくりとお休みないただけます。



○グラウンドゴルフ場（8ホール）



○テニスコート（1面）

【利用案内】

開館時間	午前10時～午後8時
休館日	毎週月曜日・年末年始
利用料金	中学生以上 300円 小学生 100円 未就学児 無料

※屋外施設は、全て無料ですがご利用いただけますが、利用時間の調整のため、事前にご連絡をお願いします。

連絡先 胆江地区広域交流センター
TEL 0197-24-6644



胆江地区休日診療所

【休診日】
診察日 日曜日、祝日、1月1日、1月30日
診察時間 午前8時30分から午後4時まで
（受付は、午前8時から）
診察科目 内科・外科

お問い合わせ
胆江地区休日診療所（診察日のみ）
奥州市水沢区多賀2番地の1
TEL 0197-2513995

「休日の軽い病気やけが、胆江地区休日診療所は、休日に病気やけがをしたときに、初期的治療（二次救急医療）を受けることができる施設です。」

担当医師は、奥州市医師会員が輪番で担当します。受診の際には、健康保険証をお持ちください。



胆江地区休日診療所をご利用ください